組織現勢（12月1日現在）
組合員数 24,395 世帯
出資口数 85,504 口
11月の新規加入 68 世帯
11月の増資口数 369 口
No. 316 再生紙を使用しています。

城南の保健

発行所
城南保健生活協同組合
本部事務局 大田区大森中1-22-1 2階
TEL（3762）0266
振込銀行 さわやか信用金庫大森支店
口座（普）0469459
発行 「城南の保健」編集委員会
毎月1回発行・定価1部 30円

新年おめでとうございます

新春座談会

左から、植田さん、千田さん、小関さん、橋本さん、神岡さん（撮影：豊支部・唐沢英行さん）

地域のネットワークを広げて「誰もが安心して住み続けられるまちづくりの運動」をさらにすすめていこう

神岡（司会） あけましておめでとうございます。城南医薬保健協働の代表をしています神岡です。昨年をふり返りますと、私たちの生活の基礎となる食の安全が脅かされた年でした。今の社会を象徴する格差社会という言葉が、当たり前のように使われるようになりました。4月からは後期高齢者医療制度が導入され、先に行われた介護保険制度の改悪と合わせて、ますます高齢者の生活は厳しいものとなっています。

今回の新春座談会は、昨年11月に完成した2カ所目のグループホーム「虹の家しおかぜ」と12月に着工した新大田病院建設を中心テーマとして、医療、介護、さらに私たちの生活についてお話ができればと思います。

はじめに大田病院副院長の千田先生からお話を伺います。

新大田病院建設を成功させ、引き続き「ことわらない医療」を

千田 新大田病院建設がスタートしています。現地建て替えで、入院機能を維持しながらですので、現在も109床が可動しています。昨年11月に約半分の敷地が更地になり、12月には工事機器が入り新大田病院建設が現実のものとなってきました。入院患者さんのアンケートでは、職員への満足度は5段階評価で4、5と評価していただいておりますが、建物など環境への満足度は2、3も少なくありません。地域のみなさんの要求に応えていくためにも、新大田病院建設を成功させなければと心を新たにしています。新病院は、一般病棟が3つ、回復期リハビリ病棟が1つの予定ですが、全職員が一丸となって、患者さんと一緒に健康を守っていきます。現在、ベッド数が109床と減ったため、地域の入院要求に応えられない時もありご迷惑をおかけすることもありますが、新病院では189床となるので、「ことわらない医療」を展開できると思っています。

新大田病院完成イメージ図

神岡 橋本さん、2カ所目のグループホームが開設しましたね。

入居される方が「楽しい」と思える地域に密着したグループホームに

橋本 ついに念願の2カ所目のグループホーム「虹の家しおかぜ」が完成しました。1カ所目の「虹の家みちづか」（9人入居）は5年がたち、地域に密着した施設になりました。今度の「しおかぜ」は、2ユニットで18人が入居できます。大田病院も近くにあり安心感のある場所です。また、隣は保育園と小学校ということで、賑やかな声も聞こえてくるでしょうし、お年寄りの方々は子どもが大好きなので、とてもよい影響になると思います。「しおかぜ」も「みちづか」同様、地域に密着した場所にしていきたいし、入居者のみなさんの気持ちが和んで、楽しいという気持ちになるようにがんばっていきます。

虹の家しおかぜの全景

神岡 小関さん、地域の方々から日頃相談がよせられているようですが。

——*——*——
【4ページにつづく】

今年もよろしくお願いいたします

理事長 小関直彦
専務理事 植田栄一
常務理事 安斎晴夫
理事 色部祐
〃 松川久男
〃 村松茂
〃 前沢淑子
〃 浅見美代子
〃 石川八郎
〃 市川由
〃 伊藤邦夫
〃 江田とし子
〃 江部謙五
〃 大川進
〃 大澤千恵子
〃 金子ミサ子
〃 川崎恵理子
〃 神田瑞穂
〃 工藤人喜江
〃 後藤正明
〃 小林秀男
〃 佐藤利枝
〃 志田恵子
〃 下山珪子
〃 白石芳枝
〃 関根覚
〃 高橋貴美子
〃 忠鉢文子
〃 戸張由子
〃 中里由美子
〃 丹伊田恵寿
〃 橋本雪子
〃 三上志津子
〃 村田俊広
監事 森光男
〃 安田久美子
〃 柳田紀久子
〃 横山直城
〃 吉田由紀
〃 須山恵子
〃 片岡君子
〃 荒川侃
本部員 野口修二
〃 阿部隆司
〃 梶原直之
顧問 阿部隆雄
相談役 石向石雄
〃 池山鉄夫
〃 秋田穫雄
〃 丸茂勇夫
〃 可知佳代子